

# 小児期の逆境体験やトラウマに 焦点をあてた依存症支援

小児期の逆境体験とは、小児期における被虐待や機能不全家族との生活による困難な体験のことであり、幼少期のさまざまな逆境体験の重なりが不信感や拒絶感を強め、物質使用障がいも深刻化させると言われています。

本研修では、小児期の逆境体験による影響について理解し、逆境体験を経験した依存症の方への支援について学んでいただけます。ぜひ、ご参加ください。

**日時** 令和8年12月23日(水)13:30～16:30(受付13:00)

**場所** 大阪産業創造館 4階 イベントホール  
(大阪市中央区本町1丁目4番5号)

[会場へのアクセスはこちら](#)



## 内容

### 「小児期逆境体験に注目した

#### ● 講義

### 依存症患者の理解と支援の基本」

講師: 神奈川県立精神医療センター 所長 小林 桜児 氏

日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医。臨床研修後、神奈川県立精神医療センター旧せりがや病院や国立精神・神経医療研究センター病院などを経て、平成26年12月より神奈川県立精神医療センター依存症診療科に勤務され、現在は同センター所長を務められています。

依存症と小児期逆境体験(ACEs)に関する研究・臨床に従事されている小林先生に、なぜ物質使用や特定の行動をやめられないのか、小児期逆境体験との関連や依存症のメカニズムについて、豊富な臨床経験を踏まえてご講演いただきます。



#### ● グループワーク等

## 対象

**相談対応の経験が概ね3年以上ある方が対象**

保健所職員

市町村職員(障がい福祉・保健・児童福祉・生活困窮支援の担当課等)

子ども家庭センター職員、女性相談センター職員

その他相談支援に携わる関係機関職員

【上記について、政令市(大阪市・堺市)を除く大阪府内で勤務されている方】

大阪府内の精神科医療機関職員

大阪府内の高等学校・支援学校高等部等、大学等教育機関の職員

定員: 70名  
(申込先着順)  
参加費 無料

## 申込

研修案内ページ内にある申込フォームか下記の二次元コードよりお申込みください。

こころのオアシス <https://kokoro-osaka.jp/>

依存症対策研修 → [依存症相談対応・実践研修\(A-2\)](#)

「小児期の逆境体験やトラウマに焦点をあてた依存症支援」

締切: 12月16日(水)17時まで



## 問合せ先

大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課  
TEL: 06-6691-2818 FAX: 06-6691-2814  
E-mail: kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp

担当: 村田・引地・村谷